

生活単元学習指導案

情緒障害特殊学級

知的障害特殊学級

1 単元名 あすはばパーティーをしよう

2 単元について

(1) 単元の価値

本学級の子どもたちは、これまで「学校のまわりをしらべよう」や「宿泊学習に行こう」といった学習で、安全に気を付けて行動したり、身の回りのことはきちんと自分でしたりすることを学んできた。また、「七夕まつりをしよう」や「月見団子を作ろう」では、七夕飾りを作り、願い事を書いて発表し合ったり、月見団子を作って食べたりする活動を通して、一年の決まった時期に生活を楽しむ行事があることを知るとともに、それを楽しむために必要なものを自分たちの手で作る喜びと満足感を味わってきている。しかし、普段から身の回りにある自然を利用して遊んだり、身に付けた調理の技能を生かしてみんなで会食して楽しんだりする経験はあまりない。そして、調理では、それぞれが分担して作ってきており、最初から最後まで一人で作って食べたことはまだない。

そこで本単元では、身の回りの自然を利用しておもちゃや飾りを作ることで、自分なりに工夫して日常生活を楽しもうとする意欲が高まるようにする。また、作ったおもちゃを使ってみんなで遊んだり、トーストを作つて会食したりすることで、周囲の人と一緒に余暇を楽しもうとする態度を養う。さらに、おもちゃやトースト作りを通して、工作や調理の仕方を理解するとともに、それぞれの発達段階に応じた工作や調理の技能を身に付け、道具や器具の適切な扱い方ができるようにすることをねらいとしている。

指導に当たっては、単元の導入で「あすはばパーティー」の様子が分かる写真を見ることで活動への意欲が高まるようになる。そして、パーティーに向けて自分たちでおもちゃ作りやトースト作りをすることを知り、学習計画を立てることで単元全体の見通しをもつことができるようになる。木の実等を使ったおもちゃを作る際は、いろいろな作品を見たり、実際に遊んだりすることで活動への意欲を高めることができるようになる。そして、作り方の手順を示し、作りやすいように加工した材料も準備しておくことで、主体的な活動ができるようになる。トースト作りでは、トーストにぬる材料を選択できるようになることで活動への意欲を高めるとともに、個に応じた作り方ブックを作成することで、作り方の手順や道具の使い方が分かり、できるだけ自分でトーストを作ることができるようにする。さらに、おもちゃやトーストなどを作ることで楽しい「あすはばパーティー」ができるなどを繰り返し話し、パーティーに向けての意識が続くようになる。

このような学習を通して、子どもたちは身の回りの自然を利用したり、身に付けた工作や調理などの技能を生かして進んで余暇を楽しんだり、日常生活を豊かにしたりしようとする態度を身に付けることができると考える。また、道具や器具の適切な使い方を覚え、それらを使って作品や料理を作ることを繰り返していくことで、生活を便利にする道具を上手に使っていく技能を確実に身に付けるとともに、達成感や成就感から自己評価を高め、身の回りのことを自分で処理していく力を持つ力を伸ばしていくことにつながると考える。

(2) 単元の目標

- 「あすはばパーティー」に見通しをもち、おもちゃや飾り、トーストを作り、それらを利用して主体的にパーティーを楽しもうとする。また、おもちゃ作りやトースト作りを通して、学習したことを今後の自分の生活に生かそうとする。【関・意・態】
- 教師が実際に作る様子や作り方の手順カードなどを見て、木の実や葉っぱなどを使ったおもちゃや飾りの作り方や、トーストの作り方を理解することができる。

- 工作や調理で使う道具や器具の安全な使い方を理解することができる。 【知識・理解】
- はさみや錐、接着剤などを使って、安全に気を付けながら、葉っぱや木の実などを利用したおもちゃや飾りを作ることができる。
- トースター やバターナイフ、パンばさみなどを使って、安全に気を付けながら自分が選んだトーストを一人で作ることができる。 【技能・表現】
- おもちゃや飾り作りに使う木の実や葉っぱなどの材料を自分で選び、自分なりに考えて作品を作ろうとすることができる。
- トーストにぬるいくつかの材料の中から自分が食べたいものを選び、好きなトーストを作ろうとすることができる。
- 身の回りの自然を利用したり、身に付けた技能を生かしたりすることで、自分でなく周囲の人とも一緒に生活を楽しめることに気付くことができる。 【思考・判断】

(3) 子どもの実態（単元に関する実態）

	関・意・態	工作の技能	調理の技能	安全面	単元の目標
A 児 れ す な 1 ろ 年	・ 実物や写真や絵で活動の見通しがもてる。課題に最後まで取り組もうとするが、意欲を持続するために言葉掛けが必要である。	・ 手先を使う細かい作業には時間がかかる。はさみを使って決められた形に切ったり、決められた場所にのりではったりする作業は支援を必要とする。	・ 調理は好きで、母親の手伝いをよくしている。 ・ 白玉団子は、上手に丸めることができた。 ・ トーストを自分で焼いたことはない。	・ 気持ちが冷静なときは、危ないことについて考え、安全に行動しようとする。 しかし、早くしようとして慌てたり、急に走ったり、急に走ったりすることがある。	○ 見本や作り方カードを見ながら、木の実などを利用した簡単なおもちゃや飾りを作ることができる。 ○ トーストブックを手掛かりにして、一人でトーストを作ることができる。 ○ 思うように作れないことがあっても、最後まで作ろうとすることができる。
B 児 れ す な 1 ろ 年	・ 実物や写真、絵などで活動の見通しをもつことができると、苦手な活動にも落ち着いて最後まで取り組もうとすることができる。	・ 身の回りのいろいろな材料を使つて、自分の好きな動物（象）を作るのが得意である。 ・ 紙を切つて、のりではることもよくできる。	・ 調理は好きで、母親の手伝いをよくしている。 ・ 白玉団子は、一つ一つ丁寧に丸められた。 ・ トーストは、母親と一緒に焼いて食べたことがある。	・ 身の回りの道具については、使い方を何度も確認しながら丁寧に扱う。してはいけないことは、いついては、理由を話して教えると、納得して守ろうとする。	○ 見本や作り方カードを見ながら、木の実等を利用した簡単なおもちゃや飾りを作ることができる。 ○ トーストブックを手掛かりにして、一人でトーストを作ることができる。 ○ おもちゃで遊んだり、会食をしたりしてパーティーを楽しもうとする。
C 児 れ す な 1 ろ 年	・ 興味のある学習は、積極的に取り組む。 ・ あわてて活動を終わらせようとするが、活動の手順を細かく示すと、落ち着いて取り組むことができる。	・ 手先を使う細かい作業は、時間がかかる。 ・ はさみを使って決められた形に切ったり、決められた場所にのりではったりする作業は、支援を必要とする。	・ 調理に興味や関心はあるが、保護者と一緒に調理をしたり、一人で作つて食べたりしたことがない。 ・ 白玉団子は、丸めるのに苦労していたが、自分でできた。	・ 活動に夢中になったり、感情が高ぶつたりすると、道具の安全な使い方を忘れてしまうことがある。また、指示を最後まで聞かないうちに行動に移してしまうことがある。	○ 見本や作り方カードを見ながら、木の実等を利用した簡単なおもちゃや飾りを作ることができる。 ○ トーストブックを手掛かりにして、一人でトーストを作ることができる。 ○ 思うように作れないことがあっても、最後まで作ろうとすることができる。

D	児はばたき年	<p>・好奇心旺盛で、どの活動にも積極的に取り組む。</p> <p>・活動の見通しをもたせる</p> <p>と、落ち着いて活動することができるとができる。</p>	<p>・はさみで切ったり、のり付けたりするこ</p> <p>もだんだん上手になってきた。</p> <p>・作品を早く作ろうとし、簡単にできるのを作りたいとができる。</p>	<p>・調理が好きで、進んで自分からしようとする。</p> <p>・オーブンレンジを使ってトーストを作り、トングで取り出すことができる。</p> <p>・ジャムをぬったことはある。</p>	<p>・はさみや包丁などは、安全に気を付けて使おうとする。</p> <p>・人よりも先に行動したがり、指示を最後まで聞かなかったり、急いで行動することがある。</p>	<p>○ 見本や作り方カードを見て、自分なりに工夫しながら、作りたいおもちゃや飾りを作ることができる。</p> <p>○ トーストブックを手掛かりにして、一人でトーストを作ることができる。</p> <p>○ 自分たちが作ったもので生活を楽しめることに気付くことができる。</p>
E	児はばたき年	<p>・いつも生活単元学習を楽しみにしている。活動の見通しがもてる</p> <p>と、落ち着いた態度で自分から積極的に活動に取り組む。</p>	<p>・手先を使っての細かい作業は苦手だが、はさみやのりを使って一人で作品を仕上げることができる。</p> <p>・上手く作れないときは、教師と一緒に作ろうとする。</p>	<p>・調理を楽しみにしているが、火や刃物を使うときは、大変慎重である。</p> <p>・家ではトーストをよく食べているが、自分で作ったことはない。</p>	<p>・けがをしないように、安全には十分気を付けて行動することができます。また、友達が危ないことをしていると、進んで注意することができます。</p>	<p>○ 見本や作り方カードを見て、自分なりに工夫しながら、作りたいおもちゃや飾りを一人で作ることができます。</p> <p>○ トーストブックを手掛かりにして、一人でトーストを作ることができます。</p> <p>○ 自分たちが作ったもので生活を楽しめることに気付くことができる。</p>
F	児はばたき年	<p>・様々な学習に対して積極的に取り組もうとする。また、活動の見通しをもつこと</p> <p>で、最後まで意欲的に活動することができる。</p>	<p>・はさみや接着剤もうまく使って作業することができます。</p> <p>・見本を参考にして、自分の考えを入れながら作品を作ろうとすることができる。</p>	<p>・調理は大好きである。米を洗い、電子ジャーで炊くことはできる。</p> <p>・トーストは、母親と一緒にオーブンレンジで作ったことがある。</p>	<p>・安全な行動の仕方を事前に教えておけば、けがをしないように、安全に気を付けて行動することができます。また、友達が危ないことをしていると注意することができます。</p>	<p>○ 見本や作り方カードを見て、自分なりに工夫しながら、作りたいおもちゃや飾りを一人で作ることができます。</p> <p>○ トーストブックを手掛かりにして、一人でトーストを作ることができます。</p> <p>○ 自分たちが作ったもので生活を楽しめることに気付くことができる。</p>
G	児あなろ年	<p>・实物や写真、絵などで学習活動の手順を示すと、活動の見通しをもつことができ、自分から進んで最後まで取り組もうとする。</p>	<p>・時間が掛かるが、手先を使っての細かい作業は意欲的に取り組み、最後までやり遂げることができ。</p> <p>・決まった場所に決まった物を切って貼り付ける作業を好む。</p>	<p>・調理学習は好きで、教師の声かけの下、決まった分担をやり遂げる。</p> <p>・母親の料理の手伝いはよくしている。</p> <p>・トーストは、自分で焼くことができる。</p>	<p>・身の回りの道具の使い方に付けては慎重に取り扱うことができる。自分でできない場合は、教師に使い方を確認をしてから使おうとする。</p>	<p>○ 見本や作り方カードを見て、自分が選んだ木の実等を利用したおもちゃや飾りを作ることができます。</p> <p>○ トーストブックを手掛かりにして、一人でトーストを作ることができます。</p> <p>○ 作ったおもちゃで友達と一緒に遊んだり、会食をしたりして、「あすはばパーティー」を楽しもうとする。</p>

3 指導に当たって

本単元の指導に当たっては、子ども一人一人が学ぶことの楽しさを感じることができるように、以下の研究の視点に沿って手立てを考え、指導していく。

○ 研究の視点1（子ども一人一人の目標に沿った課題の設定）

- ・ 一人一人の個別の教育支援計画の目標を単元の中に生かしていくことで、個に応じた指導を行うことができるようとする。
- ・ 子どもたちは保護者と一緒に調理をする機会は多いが、すべて一人ですることはない。そこで、コンロや刃物を使わなくてもできるトーストの作り方を知るという目標を設定することで、「ちょっとがんばれば一人でできる。」と感じ、意欲的に活動することができるようとする。

○ 研究の視点2（子ども一人一人にとって分かりやすい授業づくり）

- ・ 例えは本時では、「トーストブックを作ろう」というめあてを設定することで、子どもたちは本時にすることが分かることとともに、トーストブックを作り上げることで、結果的に教師が設定した、「トーストの作り方を知る」という本時の目標を達成することができると思った。
- ・ 工作や調理をする際には、見本となる作品を提示して実際に遊んだり、作り方を示したカードやVTRを見たりすることで活動の手順や使う材料・道具などについて理解し、主体的に活動することができるようとする。

○ 研究の視点3（「できた！」「やった！」を感じる授業づくり）

- ・ おもちゃや飾り作りでは、どんぐりごまや木の実の動物、首飾りなど作りたい作品ごとに必要な材料を分けて提示したり、木の実にはあらかじめ錐で穴を開けておくなど発達段階に応じた材料を準備したりすることで、自分の力で作品を仕上げることができるようとする。
- ・ トーストブック作りでは、個に応じて、トーストを作る手順を場面ごとに写した写真シールや作り方の説明シールをワークシートにはることで、簡単に完成することができるようとする。また、シールをはったり、作り方を記入したりする枠を設定しておくことで、作り方の手順が分かり、見やすいトーストブックを作ることができるようとする。
- ・ 見本を見て作りたいおもちゃや使う材料を選択・決定したり、食パンにぬって食べたい材料を自分で決めたりすることで、それぞれの子どもが自分の願いを基にして主体的に活動することができるようとする。
- ・ 「学習計画表を作る」、「おもちゃ作りの材料を集める」、「おもちゃを3個作る」、「トーストブックを作る」といっためあてを設定し、一単位時間の学習活動が目に見えるものとして残るようになることで、子どもたちが学習活動に対する達成感を味わうことができるようとする。
- ・ トーストブック作りでは、完成したらコックさんバッジをもらえることと結び付けて称賛することで、トーストブックを作ることができたという達成感を味わうことができるようとする。
- ・ 「あすはばパーティー」では、子どもたちが作ったおもちゃやトーストについて称賛したり、これまでの学習の取組を認めたりすることで、パーティーでの満足感を得ることができるようとする。

○ 研究の視点4（学ぶことを楽しむ学習環境づくり）

- ・ 子どもの発達段階に応じてグループ学習を取り入れることで、それぞれのペースに合わせた指導ができるようとする。また、机やいすの配置を変えたり、ついたてを使ったりして「みんなで学習する場」、「グループで学習する場」、「一人で学習する場」を視覚的に明確に示すことで、一人一人の子どもが落ち着いて活動できるようとする。
- ・ 絵や写真などと文字を合わせた作り方カードを作成して教室に掲示することで、いつでも学習内容を振り返ることができるようにしておく。
- ・ おもちゃ作りやトースト作りにおいて、材料をそろえたり、作り方を確かめたりしてから実際に作り始めるという活動を繰り返すことで、日常生活においても、自分なりに考えて事前の準備をしてから実際の活動に入るということができるようとする。

4 指導計画（全14時間）

●は研究の視点と関連するもの

過程	時間	主な学習活動	教師の支援
一 次	1	<p>あすはばパーティーの計画を立てよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真でパーティーの様子を知る。 ○ あすはばパーティーに向けて、準備することを知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃや飾り作り ・トースト作り ○ あすはばパーティーの計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 木の実等で作ったおもちゃや飾りで遊んだり、トーストを食べたりしている写真を見ることで、あすはばパーティーの内容をつかむことができるようになる。 ● 学習計画を立てる際の留意点として、計画表は写真を掲示したり、日付をおつたりすることができるようになることで、単元全体の見通しをもって意欲的に活動に取り組むことができるようになる。
二 次	5	<p>おもちゃや飾りの材料を探そう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ おもちゃや飾り作りの材料を探す。 <ul style="list-style-type: none"> ・落ち葉 ・どんぐり ・まつぼっくり <p>作りたいおもちゃを決めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見本のおもちゃを見たり、遊んだりして、作りたいおもちゃを3つ決める。 <p>木の実や葉っぱなどを使って、選んだおもちゃや飾りを作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 作り方を知る。 ○ 自分が選んだ3つのおもちゃや飾りを作る。 ○ 作りたいものを自由に作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見本のおもちゃに使っている葉や木の実を知ることで、意欲的に材料を集めることができるようになる。 ○ 木の実等を探しに行く際は、これまでの経験を振り返り、安全に気を付けて活動することができるようになる。 ● 作りたいおもちゃや飾りを3つ選ぶことで、おもちゃ作りに見通しをもって取り組むことができるようになる。 ○ はさみや錐、木の実穴開け器、接着剤などの使い方について支援し、発達段階に応じて適切な使い方ができるようになる。 ○ 見本のおもちゃと作り方の手順を参考にしながら自由に活動することで、自分の思いを生かした作品を作ることができるようになる。
三 次	6	<p>トーストブックを作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教師のトースト作りの様子を見た後で、作られたトーストを食べる。 ○ トースト作りのVTRを見る。 ○ トーストにぬるものを見せる。 ○ トーストの作り方をみんなで確かめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・調理の手順 ・器具の使い方 ・衛生面 ○ それぞれがトーストブックを作る。 ○ トーストブックができたら、コックさんバッジをもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ● トーストの作り方の手順を分かりやすく示したVTRを見ながら、大切な場面の写真を掲示していくことで、トーストの作り方を確かめることができるようになる。 ● パターやジャムなど、パンにぬりたいものを自分で選ぶようにすることで、トースト作りへの意欲を高める。 ● 「トーストブック」は、作り方が視覚的に分かるワークシートやめくり式のカードを準備することで、それぞれの子どもの実態に合わせて作れるようになる。 ● 活動の最後には、「コックさんバッジ」を準備し、そのバッジをもらうことで活動の達成感を味わうことができるようになる。

		<p>トースト作りの材料を買おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 近くの店に、トースト作りに必要な材料を買いに行く。 <ul style="list-style-type: none"> ・食パン ・マーガリン ・ジャム ・飲み物 <p>道具の使い方に気を付けて、おいしいトーストを作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ トーストブックで作り方を確かめながら、トーストを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 買う材料を分担し、これまでの買い物学習を基にして買い物の仕方を確認することで、意欲的に行動できるようにする。 ● 自分のトーストブックや黒板に掲示した手順を基にしながら、安全に気を付けて、自分の力でトーストを作ることができるようとする。 ● 活動の途中で称賛や励ましの言葉掛けをすることで、主体的に活動できるようにする。また、活動後に称賛することで、子どもたちが達成感や成就感を味わうことができるようとする。
四 次	2	<p>あすはばパーティーをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 作ったトーストをみんなで食べる。 ○ 作ったおもちゃをみんなに紹介したり、遊んだりして楽しむ。 ○ 後始末をする <p>楽しかったことを発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真を基に活動を振り返り、楽しかったことやできしたことについて発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 楽しい雰囲気の中でパーティーをすることができますようにする。 ● 教室の一部に、子どもたちが作ったおもちゃや飾り、トーストブック、これまでの活動の様子の写真を掲示することができるスペースを作り、いつでも自由に見ることができるようにすることで、「できた！」という達成感を味わったり、学習活動を振り返り、今後の生活に生かそうという意欲をもつたりすることができるようとする。

5 本 時

(1) 目 標 (個人目標)

A・C児	VTRを見てトーストの作り方を知り、手順を示したワークシートに写真をはったり、その説明をなぞり書きしたりしながら、「トーストブック」を作ることができる。
B・G児	VTRを見てトーストの作り方を知り、手順を示したワークシートに写真をはったり、その説明シールをはったりしながら、「トーストブック」を作ることができる。
D・E・ F児	VTRを見てトーストの作り方を知り、作る順番どおりに写真をはったり、説明を書いたりしながら、「トーストブック」を作ることができる。

(2) 展 開

過程	時間	主 な 学 習 活 動	教 師 の 支 援 (●は研究の視点に関すること)
つ か む	(分) (7)	1 学習計画を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習計画表を見て本時の学習内容を知ることで、活動への意欲を高めることができるようする。 ● G児については、1時間の学習の流れを書いたカードを準備し、活動が終わるごとに印を付けていくことで活動の見通しをもつことができるようする。
		2 トーストを食べる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実際にトーストを食べることで、トースト作りへの意欲を高めることができるようする。また、おいしいトーストをみんなで作って食べることで「あすはばパーティー」を楽しむことができることを話し、パーティーに向けての意欲も高めることができるようする。

		3 本時のめあてを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ● めあてを「トーストブックを作る」という行動目標とし、「トーストブック」（ワークシート）を完成させることで、「トーストの作り方を知る」という本来の目標を達成することができるようとする。
つ	か (7)	トーストブックをつくって、コックさんバッジをもらおう。	<ul style="list-style-type: none"> ○ めあてを一斉に音読した後、一人一人がめあてをしっかりとつかむことができるよう 「あすはばパーティーノート」にめあてを書く。 ○ A・C児については、「あすはばパーティーノート」に赤字でめあてを書いておくことで、なぞり書きができるようする。 ○ B・G児については、「あすはばパーティーノート」にめあてを書いておき、その下にマス目のある欄を作ておくことで、一人で視写することができるようする。 ● 見た目が華やかで楽しさを感じられる「トーストブック」の見本を見るとともに、「トーストブック」が完成すると、「コックさんバッジ」がもらえ、トースト作りができることを知らせることで、「トーストブック」作りへの意欲を高めることができるようする。 ● 「コックさんバッジ」は、それぞれの子どもたちが喜ぶようなキャラクターにすることで、子どもたちが、「トーストブック」作りに更に意欲的に取り組むことができるようする。
む	見 (8)	4 VTRを見る。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「パンにぬるもの決める」→「パンをトースターに入れる」→「スイッチを入れる」→「パンばさみで取る」→「決めたものをぬる」というトーストの作り方の手順を示したVTRを見ながら、活動の流れを一つずつ押さえ、それぞれの場面の写真を黒板に掲示することで、トーストの作り方を知ることができるようする。 ○ 難聴があるF児については、VTRの音声が聞き取りにくいようなときには、T2が補足をすることで内容を理解することができるようする。 ● 写真を掲示する際は、番号と矢印を書きながら黒板の左から右へ向かって順番に一列に並べることで、トーストを作る順番を正しくとらえることができるようする。
見	通 (8)	5 トーストの作り方をみんなで確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 黒板に掲示した写真の説明をすることで、作り方の手順を確かめることができるようする。A・B・C・G児が発表しにくいときは、教師が説明を書いた短冊の中から答えを選ぶことで、発表することができるようする。 ● 熱いトースターに触ろうとしている写真や、パンばさみやバターナイフなどの道具の写真を、その内容が対応する手順カードの下に掲示することで、安全に気を付ける場や道具を使う場について知ることができるようする。
す			

活動する	6 「トーストブック」をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「トーストブック」の点線の枠の中には写真をはり、実線の枠の中には説明を書くことを一斉に知らせた後に、グループごとに再度確認することで、見通しをもって活動に取り組むことができるようになる。 ● それぞれの子どもの実態に合った「トーストブック」を作ることで、トースト作りについての意識を深め、自分で作ってみようとする気持ちを高めることができるようになる。 ● A・C児については、「トーストブック」に作り方の手順どおりに写真をはり、その下に説明をなぞり書きすることで「トーストブック」を作ることができるようになる。写真をはる際は、黒板の掲示を基にして順番をよく確かめるように言葉掛けをすることで、順序よくはことができるようにする。また、A児については、周りの様子が気になるような場合には、ついたてを準備し、落ち着いて活動に取り組むことができるようになる。 ● B・G児については、「トーストブック」に作り方の手順どおりに写真をはり、その下に説明を書いたシールをはっていくことで「トーストブック」作ができるようになる。その際、見本の「トーストブック」を準備しておくことで、作り方の手順をその場ですぐに確かめができるようにしておく。また、できたことを大いに称賛することで、できるだけ最後まで一人で活動することができるようになる。 ● D・E・F児については、「トーストブック」に作り方の手順どおりに写真をはり、その下に説明を書いていくことで「トーストブック」作ができるようになる。また、D児については、説明の枠の中にマス目を書いておき、丁寧に書くことができるようになる。E・F児については、黒板の掲示を基にして順番をよく確かめるように言葉掛けをすることで、順序よく写真をはができるようになる。 ○ 「トーストブック」を早く作り終えた子どもについては、自分の「トーストブック」を見ながら、作り方の手順や気をつけることについてグループの中で説明することで、作り方や気を付けること、使う道具などについて更に理解を深めることができるようになる。
	7 本時の学習について振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「トーストブック」を紹介する際には、教師がそのできばえを称賛することで、満足感を得ることができるようになる。 ● 「トーストブック」が完成したら、「コックさんバッジ」をもらうことで、めあての達成感を味わうとともに、自己評価をしやすいようになる。 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">トーストの作り方を知り、「トーストブック」を作って「コックさんバッジ」をもらうことができたか。</p>
振り返る	8 次の学習について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 次の時間はトーストを作り、「あすはばパーティー」を楽しむことを伝えることで、活動への意欲を高めることができるようになる。